



2025 年 8 月 7 日

各 位

会社名 玉井商船株式会社
代表者名 代表取締役社長 清崎 哲也
(東証スタンダード・コード 9127)
URL <http://www.tamaiship.co.jp>
問合せ先 取締役 松本 和成
TEL 03 (5439) 0260

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）業績予想の修正に関するお知らせ

2025 年 5 月 15 日に公表した 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、2026 年 3 月期通期の連結業績予想につきましては変更ございません。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値の修正

(2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株 当 たり 中 間 純 利 益
前回発表予想 (A)	2,400	10	20	10	5 円 18 銭
今回修正予想 (B)	2,300	▲100	▲160	▲130	▲67 円 35 銭
増 減 額 (B－A)	▲100	▲110	▲180	▲140	
増 減 率 (%)	▲4.2%	—	—	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期第 2 四半期)	2,780	445	448	367	190 円 33 銭

・ 修正理由

外航海運業において、複数の船舶の貸船期間が予定より長くなったため、配船計画の見直しを余儀なくされ、外部からの借船による借船料や追加の運航費等の営業費用の増加が見込まれます。

内航海運業においては、第 2 四半期において予定していた定期貸船の開始が第 3 四半期にズレ込み、営業収益（貸船料）の減少が見込まれます。

また、第 1 四半期において為替差損 101 百万円を計上した結果、中間期までに多少の増減はあるものの、営業外費用が増加し経常利益の減少が見込まれます。

中間期は上記のとおり下方修正いたしますが、外航海運業において、6 月末に竣工した新造船を含めて配船計画を見直した結果、当初予想していた水準よりマーケットが上昇基調にあることから、通期におきましては、当初の予想通りの着地を見込んでおります。

(注) 上記業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上